

人口のうごき

	(12月1日現在)	推計)
	本 月	前月比
男	37,699	8 増
女	34,798	3 減
計	72,497	5 増
世帯数	27,884	1 減

こまえ

広報

発行 東京都狛江市
狛江市和泉本町一丁目1番5号
〒201 ☎480-1181
編集 企画財政部企画広報課

昭和59年 1月1日 414号

走ろう！希望の'84年



市民要望の実現に向かって

市長 吉岡 金四郎



明けましておめでとうございます。市民の皆さまの清々しく迎えられた新春を祝し、旧年中賜わりました御厚情に深謝申し上げます。

昨年は、国の内外情勢の極めて厳しい中で、第二次臨時行政調査会の答申にみられるように財政の健全化や行政改革の推進が強く求められた年でありまし

た。このような中で狛江市においては、効率的な行政運営に努め、南部地域センターや和泉児童館、松原児童保育所等を開館するとともに、今夏の完成を目指して市民プールの建設工事等にも着手することができました。

また、引き続き小田急線連続立体化事業や狛江駅北口整備計画の推進を図るとともに、狛江第一小学校移転用地の取得、福祉の向上、各種保健事業の充実、教育施設の整備など諸施策に取り組みことができました。

これは、市民の皆さまの御協力と市議会の御協賛の賜ものと感謝申し上げる次第でございます。

さて、本年も諸情勢はさらに厳しいと予測されますが、昨年来の事業の完成を期すとともに、福祉や教育等の諸施策を後退させないよう配慮する一方、小田急線連続立体化事業、狛江駅北口整備計画を関係市民の皆さまの御理解と御協力を得て実現に向けて努力する所存でございます。さらに、市内の交通問題を解決するため多摩水道橋の拡幅を推進してまいります。

新しい年が災害もなく、平和な町づくりができますよう祈念し、行財政の効率的な運用に努め、市民の皆さまの御要望にこたえる覚悟でございます。なにとぞ、市政に対する一層の御叱正御協力をお願い申し上げます。

ここに、皆さま方のますますの御多幸と御健勝を祈念し、年頭のごあいさつといたします。

諸事業の促進に努力

市議会議長 谷田部 啓治



明けましておめでとうございます。市民の皆さまには、希望に満ちた新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、旧年中は、議会活動に深い御理解と温かい御協力を賜わりましたことを厚くお礼申し上げます。

昨年は、統一地方選挙から総選挙まで、特に七月には、制度改正後初執行の参議院議員選挙

が行われるなど多くの選挙があった、まさに選挙一色の年でありました。

一方、国政にあっては、景気浮揚施策が進められながらも一向に不況から脱出できないばかりか、ますます財政事情が厳しさを増し、行政改革の推進最優先がさげばれております。

各自自治体にあっても、事務事業の見直しや職員給与ならびに定数あるいは退職金の引き下げに至る諸問題に市民の強い関心が寄せられております。

そのような中にあっても狛江市におきましては、長年の懸案であります小田急線の連続立体化が、沿線住民の御理解を得て

前進しており、狛江市の表玄関となる狛江駅北口整備計画は、狛江第一小学校の移転用地の取得が済み、地域住民や権利者の御理解と御賛同を深めながら事業の促進が期待されています。

また、待望の市民プールが今夏のオープンを目指して、すでに和泉本町三丁目二十五番の体育施設用地で工事中です。さらには来年に向けて同じ敷地内に市民総合体育館を引き続きオープンさせるべく、市議会といたしましても一層の努力をいたす所存です。

どうか、今後とも市議会に対する深い御理解と御協力をお願い申し上げます。

最後に、市民の皆さまの御多幸を心からお祈りいたしまして年頭のごあいさつといたします。

町づくり

春会 新座談

「登戸の渡し」が残っていた三十年前、今日の町の発展を想像した人は少なかったでしょう。今でも一日と変化する街の様子。三十年後、六十年後、確実に世代が変わって、私たちの子や孫が「郷土づくり」を受け継いでいく筈です。

狛江の町づくり——七万市民が健康で快適な生活の営める町、子から孫へと残せる町づくりを皆んなで考えてほしいものです。十二回目を迎えた新春特集、吉岡市長を中心に、市内にお住まいで、それぞれの分野でご活躍の三人の方々に「新春町づくり座談会」をお願いしました。司会は村上さんです。

出席者 (敬称略)

電通顧問 白井和徳
(前国土庁計画調整局長)

地域開発研究所 村上研二

主婦 中島恵子
(日本民俗学会々員)

市長 吉岡金四郎

高齢化・情報化社会の中で

村上 今日新しい町づくりという事で皆さんの話を伺います。現代社会は高齢化、情報化、成熟化社会に移りつつあり、世の中全体がある意味で様変わりした時期と言われています。こういった日本全体の動きの中で、今後の新しい町づくりについてご発言いただきたいと思っています。

市長 狛江市においても、いろいろな施設が整備されてきています。一方では、依然としてさまざまな問題が残されていると思います。そこで、まず、市長さんから特に今後の町づくりに向けて、今かかっている課題についてお話ししていただきたいと思っています。

変化とともに、町づくりの考え方も若干、変わってきています。狛江はもとより、東京の近隣農村として存在し、特別な歴史や町の核となるような地域がありませんでした。

このような町に小田急線が開



中島さん 白井さん

快適な生活のために 商業機能さらに充実

願っているのは、狛江市内を二分している小田急線の問題です。ご承知のとおり、十数年来の地域の要望を受け入れ、東京、小田急電鉄が小田急線増高架計画を進めています。昨年暮れ、都市計画案の縦覧も済み、環境アセスの説明会が今月行われる段階になっています。

新しい町づくりには、この小田急線の改造を中心に取り組んでゆかなければならないと思いますが、同時に、これに関連して、駅周辺をどのようにして町の形態と調和したものをつくっていくかということも考えなければなりません。

一方、狛江にとって大切な自然である多摩川の環境を守ってゆくということや、また、人口密度が全国六位という過密化の中で、まだ緑が点在している現状を、後世に残すことも使命であると思います。

将来、狛江が水と緑の住宅都市として、「狛江に住んで良かった」「狛江で育って本当に良かった」と言われるような町にしてゆきたいと思っておりますが、皆さんの協力をいただきたいと思っています。



とを仕事になさっていらっしゃいましたが、そういったお立場からご覧になって、狛江にはどんな良さがあり、また問題がありますでしょうか。

白井 市の段階での町づくりは、大変住民と密着した関係になっています。一方、国土庁では、国全体をいかにして均衡のとれた国土にするか、地域格差を是正し、人と国土の安定的なかわりあいをはかることが中心として地域開発などの計画をつくり推進しています。

今日までの国全体の地域開発をみてみますと、二十年代の食糧増産やエネルギー開発を中心とした段階、三十年代の高度経済成長期の重化学工業化に関連した産業都市づくりの段階、四

十年代の高速道路や新幹線を中心としたネットワーク整備の段階など、いくつかの段階を踏んできました。この間に、公害問題、オイルショックなどの問題がありました。これからの地域づくりの中心は、都市機能を整備してゆくことだと思います。

現在、生産環境と生活環境、自然環境を総合的に整備することが、国の段階でも着目されています。

商業機能のお話の中で生活の場ということがあげられました。生活と歴史を踏まえた民俗学の研究をなさっている中島さんいかがですか。

中島 狛江の町は商業機能が弱いという白井さんのご意見に同感です。日常生活の買い物の場として、それぞれの地域で便利に利用できるような、地元の特色を活かす工夫をこらした商店街の充実が、主婦の立場から期待されます。

先ほど、お話ししたあつた都市化、高齢化、情報化がますます進む中で、施設整備などハードな面とそれの利用方法や文化活動などのソフトの面の両方を合わせた都市機能の整備が国としてもこれからの課題であると考えています。

町づくりに関する市長さんのご指摘は基本的に正しいと思っています。

問題の一つは、多摩川をいかに大切にするかということや狛江の持っている緑を大切に、乱開発、ミニ開発からいかに緑を守るかということです。

もう一つは、市内の商業機能が弱いという点です。狛江は新宿や渋谷が近く、都心の高次元の商業機能への時間的距離は大変短縮されているので、市内の商業では次元の違う日常生活圏における商業機能の強化が必要であると思います。

村上 都市機能の問題では、狛江が生活の場であるというところが、これからの狛江駅北口整備と非常に重要な関係があると思います。どのような商業機能をもたせるかということは町づくりの大きなポイントです。

村上 おっしゃるとおり、町づくりの中で住民の役割は大きく変わっており、我々は、これから住む人々のために何をしたらいいのか、さまざまな問題がある中で五十年先を見て、緑や多摩川の保全など地味な取り組みをしていかなければならないですね。

小田急線立体化中心に

通(昭和二年)したため、戦後昭和三十一年代から四十年代にかけての急激な人口増加を呼び、現在のようないくつかのベッタウンとしての町に発展してきました。

今では、人口増加もようやくおさまり、学校や保育所などの整備も一段落しました。市民の皆さんの要望で水道、下水道、地域センターなどの施設整備も行われ、同時に、市民相互の地域活動も活発に行われてきています。

このような中で、今、特に

中心になることがないこと、さらには小田急線の高架化問題や多摩川や市内の緑など自然の魅力についてのお話があり、これらを踏まえて、具体的な町づくりに取り組むことが一つの方向であるというご提案がありました。

白井さんは、これまで日本の国土のあり方について考えるこ

'84 新しい



吉岡市長 村上さん

多摩川と緑の環境守る

興をできるだけ推進したいと思っています。

中島 おはやしの保存についてですが、小足立のおはやしもとは明治時代に富永銀之助さんという方が、青年たちの風俗良化のために取り入れたということ。現在、おはやしの会は市内の随分あちこちで活躍されているようです。

次に、市民まつりについてお話ししたいと思います。かつての氏子だけのおまつりではなく、

市長 市内には五つのグループがあり子どもたちも熱心に練習に励んでいます。

中島 ある神社でのおまつりのおはやしが約束の午後九時三十分をほんの少し過ぎたら、一〇番をかけた人があったという話を聞き、寒々しい思いがいたしました。

市長 おまつりとともに夏の盆おどりなども苦情があるようです。二、三日間のことで、ご理解、ご協力いただきたいと思います。

中島 年中行事の保存についてですが、和泉や駒井でどんどど焼きが復活しています。子どもたちの思い出をつくるのに大変良いことですね。同時に、その年の幸せを祈るという本来の意味を忘れてたのだの催しに欲しくないと思います。

市長 どんどど焼きは、地域に大変良い組織があり、この地域の人々が行っています。そしてこの組織は地元の人たちだけでなく、狛江に移転してきた住民の方々も参加している組織です。

白井 東京は各地方人の集まりであると言われるように昭和十六年から二十年生まれで東京生まれの人は住民の三割ぐらいでした。しかし、今の子どもは

五割ぐらいが東京生まれという状況になっています。狛江育ちの子どもが多くなればなるほど施設をつくると同じようにこれ



からの町づくりには、おまつりや盆おどりなどの催しや住民相互のふれあいや協力ができる地域活動にも力を入れなければならぬと思います。しかし、一方ではいろいろな考えを持つ人が住民の中にいるわけですから、政策を進めるうえでは息長くコンセンサス（合意）を得ることが大切だと思います。

村上 それでは市長さんに今年の抱負をお願いします。

市長 町づくりは市長だけでなく、市民の方々の協力なくてはできません。今年の一番大きな問題は、今まで総論的な話であった小田急線の問題を個々の話し合いの場に昇せていただきたいという点です。直接自分の家に影響を受けられる方には大変大きな問題ですので、市としてもできるだけ協力いただきやすい環境づくりに努力してゆきたいと思っています。

また、狛江駅北口整備については、どういうかたちにしてゆかというたき台をつくりましたので、市民の皆さんとの話し合いのなかで調和のとれた町づくりを進めてゆきたいと思っています。つづいて、和泉多摩川駅周辺についても検討していきたいです。

村上 市政を進めてゆくうえで、いろいろな意見の方がいらっしゃると思いますが、私は市長さんをはじめ職員の方々が自信を持って前向きに市政を進めてゆけば、市民もきつと応援してくれることを確信しています。市長 どうもありがとうございます。

「コミュニティをどう育てるか」

村上 次にコミュニティの問題について伺いたいと思います。

狛江の住民の多くはサラリーマン世帯です。昼間は都心で働き、狛江はもっぱら夜眠る場所という方が多く、男性に関してはコミュニティのメンバーとしての役割をはたせないケースが多いようです。コミュニティは昼間、地域で生活している女性や子ども、老人が中心になっているのが現状ではないのでしょうか。



中島 民俗学では農村を主体とした研究が行われてきました。一方、都市においても典型的なサラリーマン世帯の暮らし方に都市民俗と呼べるような生活様式がみられます。狛江でも昔からの暮らし方を核にして、変化しながらも現在に伝えられている新しい暮らし方が、つく

られてきています。都会では、サラリーマンである夫が昼間不在ですので、近所づきあいや地域の活動の主体はもっぱら主婦と子ども、老人ということになるわけです。かつて、村の暮らしの中にあつた「ユイ」や「講」などと呼ばれる

生産活動と生活活動が一体でした。農耕活動は一人ではできないので共同作業で互いに助け合ふ社会がで、生活活動の面で相互扶助のしくみがあつたわけです。一方、都市社会でのサラリーマンの生活は、働く場所と生活の場所が離れてしまふ地域での活動という面が少なくなり、古い伝統あるコミュニティは崩壊していききました。しかし、人間はいくら時代が変わっても一人では生きていきません。現在でも、昔のコミュニティの中にあつたよい面が、女性、子ども、老人の暮らしのなかに残っています。

コミュニティづくりには「我が愛する町」だとか「自分の町を誇りに思う」という意識が住民のなかに育たなければ成り立たないわけです。どういう型の

コミュニティづくりには「我が愛する町」だとか「自分の町を誇りに思う」という意識が住民のなかに育たなければ成り立たないわけです。どういう型の

コミュニティづくりには「我が愛する町」だとか「自分の町を誇りに思う」という意識が住民のなかに育たなければ成り立たないわけです。どういう型の

コミュニティづくりには「我が愛する町」だとか「自分の町を誇りに思う」という意識が住民のなかに育たなければ成り立たないわけです。どういう型の

身体障害者・精神薄弱者

相談員6人が新しく決まる

十二月一日付でつぎの方が
狛江市を担当区域とする東京都
の身体障害者相談員ならびに精
神薄弱者相談員となりました。
身体障害者相談員は、身体障
害者の地域活動の推進、更正援
護に関する相談、指導にあたり
ます。また、精神薄弱者相談員
は精神薄弱者の家庭における養
育、生活などに関する相談、指
導助言あるいは施設入所、就学
就職などに関し、関係機関への
連絡にあたります。

▽西田イシ 西和泉二一〇一

市の電話番号
四月から

長い間、市民の皆さんに親し
まれてきました市役所の電話番
号が局番、番号とも四月一日か
ら変わります。新しい電話番号
は四三〇局二二二番と覚えや
すい番号です。

なお、電話番号変更は市役所
の代表電話番号だけで、中小学
校、地域センター等の他の施設
の番号変更はありません。

小田急小田原線喜多見・和
泉多摩川間高架複々線化事
業に係わる環境影響評価書案
が、東京都環境影響評価条例
に基づき十二月十二日公示さ
れました。

説明会は九日から二日間

小田急線増・高架計画の環境影響評価書案

また、同時にこの事業の実
施により、環境に影響を及ぼ
すと思われる関係地域を狛江
市岩戸北一丁目、二丁目、三
丁目、四丁目、和泉本町一丁
目、東和泉一丁目、二丁目
(十六番及び二十番)、三丁
目、四丁目、中和泉一丁目、
元和泉一丁目、二丁目、三丁
目、及び猪方三丁目(一番)
の区域と決定されました。

なお、事業者による環境影
響評価書案の説明会を左記の
とおり開催いたします。

一月九日(月) 市民センタ
ーホール 午後六時三十分か
ら八時三十分

一月十日(火) 都立狛江高
校会議室 午後六時三十分か
ら八時三十分

学童保育所

小学1年生か
ら3年生まで

昭和五十九年度学童保育所入
所申請の受け付けを次のとおり
行います。
〔対象児童〕保護者が労働また
は疾病等の理由により日中保育
に欠ける小学校一年から三年ま
での児童。
〔受付期間〕一月九日(月) か
ら二十一日(土) 午前八時三十
分から午後五時まで(日、祝日
を除く、土曜日は正午まで)
〔提出書類〕①新規入所申請書
(継続の方は継続入所申請書)
②住民票(世帯全員の写し) ③
児童台帳④保護者の勤務証明書
なお、継続の方は各学童保育
所で申請書をお渡しいたします。
詳細は児童保育課へ。

学童保育所一覧

上和泉	和泉本町4-7-51 上和泉地域センター
猪方	猪方1-11-2 第三小学校校庭内
和泉	中和泉3-12-6 和泉児童館内
松原	和泉本町1-23-16

保 育 園

8 か 月 以 上
の 乳 幼 児

昭和五十九年度保育園入園
(更新)申請受け付けを次のとお
り行います。入園できるのは、
母親が昼間働いていたり、母親
の出産または離乳などの理由に
より、保育に困りの家庭の乳
幼児です。
〔受付期間〕 一月九日(月)
から十八日(水) 午前八時三十
分から午後五時まで(日、祝日
を除く、土曜日は正午まで)
〔入園年齢〕 昭和五十九年四
月一日現在で市立は八か月以上、
小学校就学以前の乳幼児
〔提出書類〕①保育園入園(更
新)申請書②五十八年分源泉徴
収票または確定申告書③五十
八年度市民税課税証明書④五十

八年度固定資産税課税証明書⑤
勤務証明書(母親分) ⑥最新の
給与明細書(母親分) ⑦住民票
(世帯全員の写し)
なお、申請のときまでに必要
なすべての書類がそろわなくて
も受け付けします。
詳細は福祉事務所へ。

市内には、働くお母さんのた
めに、産休明けから乳幼児をお
預かりする施設があります。
▽丸山保育園(和泉本町二一五
一六・四八〇一七九七〇)
▽あられ保育園(岩戸南三二一六
一一・四八〇一七七三三)

乳幼児保育室
もあります

また、三歳以上のお子さんの
ために、次の施設があります。
▽ひまわり保育室(和泉本町四
一七・三九・四八九・九二九三)
ご希望の方はそれぞれの保育
室にお問い合わせください。

土橋教育長

12月24日に退任

土橋君司教育長が昭和五十八
年十二月二十四日付で任期満了
となり退任しました。
土橋氏は、さる五十二年九月
一日教育長に就任、以降七年四
か月間にわたって教育行政の発
展に尽くされました。
なお、後任の教育長決定まで
の間、教育委員会事務局 菅原
啓介教育次長が職務を代理しま
す。

工業統計調査にご協力ください

通産省所管の昭和五十八年工
業統計調査が実施されます。
本年度は、製造を行っている
すべての事業所を対象に工業の
実態を明らかにすることを目的
として行われます。
また、工業統計調査と並行し
て従業者三十人以上の事業所に
おいては石油等消費構造統計調
査(旧名称「エネルギー消費構
造統計調査」)も実施されます。
これら調査の結果は、製造業活
動ならびに総合エネルギー政策
を円滑に遂行するための基礎資
料として国民生活の広い分野で
活用されます。
なお、調査票に記入された事
柄は統計目的以外に使用するこ
とはありませんので、ありのま
まを記入してください。一月十
日ごろ各事業所に調査員が伺い
ますのでご協力をお願いします。
詳細は文書課統計係へ。

金融機関(市役所内派出所を含む)は毎月第2土曜日(1月は14日)休みです

相 談



TEL(480) 二二八

保健衛生だより



- ◆健康相談 9日(月) 午後1時〜3時。市役所第二市民相談室。受け付けは、当日保険衛生課へ。
- ◆狛江保健相談所からのお知らせ(480-53551)
- ◆成人健康相談 毎週火・木曜日午前9時〜10時30分
- ◆4か月児健診 11日、18日(水) 受け付けは午後1時から。対象は58年9月中の出生者
- ◆3歳児健診 12日、19日(木) 受け付けは午後1時から。対象は55年11月中の出生者
- ◆育児相談 11日(水) 午前9時〜10時30分。子ども
- ◆精神衛生相談 心の悩み、心配ごとでお困りの方。予約制(電話でどうぞ)
- ◆風疹抗体検査 10日、24日(火) 午前9時〜10時30分。対象は妊娠予定者。料金720円。
- ◆リハビリテーション教室 13日、27日(金) 午前10時から正午。
- 武蔵調布保健所からのお知らせ

